

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

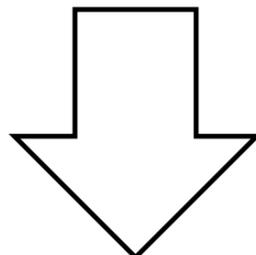
事業名	特定感染症検査等事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防および感染症の患者に関する法律		関係する計画、通知等	「性感染症に関する特定感染症予防指針」 (平成24年厚生労働省告示第19号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患)及びHTLV-1に関する検査・相談事業を推進する事により、これらの感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業並びに、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する検査及び相談事業を行い、それに対して補助を行っている。 【補助率】1/2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	65	52	52	52	828	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	65	52	52	52	828		
	執行額	68	61	86				
執行率(%)	105%	117%	165%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	性感染症及びHTLV-1の検査を普及させることにより、国民の予防意識を向上させ、感染症の発生予防及びまん延の防止し、相談事業において、正しい知識の普及啓発を行い、国民の安心・安全の確保をする。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事業実施自治体数		活動実績 (当初見込み)	自治体数	112 ( 136 )	113 ( 138 )	117 ( 139 )	- ( 140 )
			算出根拠	平成24年度補助対象事業費を事業を実施した自治体数で除して算出。 単位あたりのコスト=86,044,000円/117自治体				
単位当たりコスト	735,419(円/事業実施自治体数)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	性感染症検査・相談事業費	52	828	風しん検査事業の追加に伴う増				
	計	52	828					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	感染症の発生・まん延を防止及び治療対策の措置を行うことについて、国民のニーズがあり、国費を投入して行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置を行うためには、広域的な対応が必要であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置を実施するために真に必要な費目を補助対象経費としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりの活動実績である。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・平成24年度は性感染症について減少傾向を留めてはいるが、若年層の罹患率の割合が高いことから、広く検査及び相談の機会を提供し、早期発見・早期治療につながるよう、性感染症検査及び性感染症に関する相談事業を引き続き推進する必要がある。一部の性感染症は増加と減少を繰り返す傾向がみられるため、今後罹患率が上昇する可能性も考えられるため、長期的な変動を把握するよう継続的に調査を行う必要がある。</p> <p>・平成24年度はHTLV-1の検査機会を設けているが、まだまだ病気の認知度が低いため、広く検査の機会を提供し、HTLV-1という病気の普及啓発を行い、早期発見につながるよう今後も続けていく必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	性感染症の感染予防・まん延防止を図るための事業であるが、事業の必要性や執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0122	平成23年	0102	平成24年	0078	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
86百万円

保健所における性感染症に指定した5疾患(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症)及びHTLV-1の検査・相談事業に関する交付申請書の審査、交付決定等



【補助】

A. 都道府県、政令市、特別区(117)  
【補助率 1/2】

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A千葉県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
検査費	性感染症・HTLV-1の検査試薬	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉県	性感染症・HTLV-1の検査	8		
2	東京都	性感染症・HTLV-1の検査	7		
3	大阪府	性感染症・HTLV-1の検査	6		
4	京都市	性感染症・HTLV-1の検査	5		
5	大阪市	性感染症・HTLV-1の検査	5		
6	神戸市	性感染症・HTLV-1の検査	3		
7	福岡市	性感染症・HTLV-1の検査	2		
8	横浜市	性感染症・HTLV-1の検査	2		
9	北九州市	性感染症・HTLV-1の検査	2		
10	茨城県	性感染症・HTLV-1の検査	2		